

報道資料

令和6年3月13日

令和5年退職公務員生活状況調査の調査結果について

人事院は、国家公務員の高齢期雇用の在り方や生涯設計に関する施策を全般的に検討するための基礎資料を得ることを目的として、国家公務員の定年退職後の就業状況や収入・支出等の生活状況を把握する「令和5年退職公務員生活状況調査」を実施しました。

調査結果の概要及びポイントは以下のとおりです。

【調査結果概要】

- 対象者 : 一般職国家公務員で令和4年度末に60歳で定年退職した者等のうち、調査実施時点で所在が確認できた者 7,144人
- 有効回答率 : 73.3% (5,233人)
- 調査期間 : 2023年9～10月 (オンライン及び郵送にて実施)
- 過去調査 : 昭和48(1973)年から3年毎に実施、今回で23回目。

【調査結果のポイント】

- 定年(60歳)後も働きたい者は83.3%、調査時点での就労率は87.6%。
働きたい理由は「生活維持のため」が85.7%と最も高いが、経済的な理由以外では「社会との接点や生活の張り・生きがいを持ちたい」が44.0%、「社会や職場に貢献したい」が34.4%、「健康維持のため」が31.4%。
- 「65歳まで働きたい」と65歳以降も働きたい者を合わせると81.3%と8割を超え、特に、65歳以降も働きたい者は36.2%で、前回調査時(28.7%)に比べ7.5ポイント増加。
- 家計の状況は「ゆとりはないが赤字でない」との回答が最も多く38.8%。「時々赤字」(23.3%)と「常に赤字」(18.2%)を合わせると約4割。
- 今後の生活における懸念や不安では「自分の健康や介護」と「家族の健康や介護」が約75%と、「家計に関すること」(42.2%)などと比べて高い割合。
- 退職前に知っておけば良かったことは「年金・保険」が51.6%、次いで「資産運用」が44.6%で前回調査時(35.0%)に比べ約10ポイント増加。

| | |
|------|--|
| 問合せ先 | 人事院給与局 生涯設計課長 藤原 知朗 主任雇用専門官 柿沼 高明 電話(03)3581-5311 (内線2224) (03)3581-3996 (直通) |
|------|--|